

学科 学年	D2	科目 分類	数学AⅡ Mathematics AⅡ	講義 必修	後期 2単位	学習教育 目標 B	担当	佐藤志保 SATO shiho
概 要	1年次に引き続き1変数関数の微分、積分とその応用を扱う。後半は関数の級数展開について扱う。							
科目目標 (到達目標)	1変数関数の積分を用いて図形の面積、体積、曲線の長さを求められるようになる。また、関数の級数展開による近似をもとめられるようになること。							
教科書 器材等	微分と積分1、2、同問題集(大日本図書)、高専の数学2問題集(森北出版)							
評価の基準と 方法	定期試験80%、レポートおよび講義中の課題を20%で評価する。							
関連科目	1年次における数学A, B							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	図形の面積						
第2回		演習						
第3回		曲線の長さ						
第4回		演習						
第5回		立体の体積						
第6回		演習						
第7回		回転面の面積						
第8回		演習						
第9回		媒介変数表示による図形						
第10回		極座標による図形						
第11回		演習						
第12回		変化率と積分						
第13回		演習						
第14回		広義積分						
第15回		後期中間試験						
第16回		多項式による近似(1)						
第17回		多項式による近似(2)						
第18回		演習						
第19回		数列の極限						
第20回		級数						
第21回		べき級数とマクローリン展開						
第22回		演習						
第23回		オイラーの公式						
第24回		演習						
第25回		2変数関数						
第26回		偏導関数						
第27回		演習						
第28回		接平面						
第29回		合成関数の微分法						
第30回		× 前期期末試験						
オフィス アワー	授業、会議のない日の放課後17時まで。							
授業アンケ ートへの対応	ゆつくりと、はっきりしゃべるように心がける。							
備 考								
更新履歴	2007・3・15 新規							